

諸人のここに学びて—校長室から見える風景—(35)

人材養成プログラムを振り返る、自分の将来を描くこと

本日、今年度最後の職員会議がありました。資料の中に「豊高人材養成プログラム」の振り返りがありました。この人材養成プログラムは令和元年度から始まりました。「医療系人材」と「教員養成」の2つがあります。年間に10回超の講座があり、実際の医療人の方、学校の先生方のお話を聞くことはいうまでもなく、病院や大学に行かせていただいたり、模擬授業を行うなどもりだくさんの内容です。医療系、教員養成系ともどちらも40名を超える生徒が受講しました。

その感想から(一部抜粋)

- 自分がなりたい職業のいい面だけを見て、今の日本の医療の現状とか地域医療について知らないことだらけだったけどとてもいい勉強になった。将来は都会の病院に行きたいと考えていたけど、今の豊岡の高齢化などの現状を知り、他人事ではなく、自分が地域医療を支えていきたいと思うようになりました。
- 特別支援学校についての講義。この講義を受けるまで先生なら誰でも特別支援が必要な子どもを教えられると思っていたが、資格が必要で、私が行っていた学校とはまた違う楽しさ・やりがいを感じられる場所だと分かったから。
- どの活動も魅力的だったが、一番よかったプログラムは中学校でのがんばりタイムに先生として参加したものだと思う。

ふだんの授業とは違う経験をし、自分の将来を重ねて考えられた生徒が多かったと思います。あわせて視野を広げることもできたならありがたいです。人生は長く続きます。高校卒業後の自分の姿を描く機会となるだけでなく、高校生活の充実にも資することになればこちらもいっそううれしく思います。

このプログラムの実施にあたっては前回もお礼を申し上げたところですが、多くみなさまに支えていただいたことに重ねてお礼申し上げます。